

新しく着任した 地域おこし協力隊員を 紹介します

●問い合わせ先 生涯学習課 生涯学習班 ☎096-248-5555

地域の魅力を発信できる“市民クリエイター”の育成を目的に、映像作成技術を学ぶ『合志市クリエイター塾』。10年目を迎えた令和6年には全国から305人が参加しました。
このプロジェクトをさらに拡大発展させるために、11月から3人の協力隊員が着任しました。



鎌倉市から来ました^{やない けん}柳井研です。合志市クリエイター塾を立ち上げ、10年間続けてきたご縁で、この度移住を決めました。**目標**は、クリエイター塾を大きくして、合志市を人を大切に育てる街として有名にすることです。僕の**役割**は、拡大戦略の策定と実行組織作りです。よろしくお願いします。**休日**は、だいたい喫茶店でマンガや本を読んでいます。

熊本市から来ました^{しみず あき}志水亜妃です。元は合志市クリエイター塾生でした。参加をきっかけに多くの人とご縁ができ、とても感謝しています。**目標**は、クリエイター塾を全国で開催し、地域活性に繋げることです。私の**役割**は、SNSを使った塾の宣伝とコミュニティの活性化。よろしくお願いします。**休日**は、素焼きナッツをイベントで販売しています。ぜひ遊びに来てください。



熊本市から来ました^{ほし こひろのり}星子博紀です。合志市クリエイター塾を卒業し、SNSをフル活用した先進的な事業を立ち上げました。クリエイティブな仕事に携わることができ本当に光栄です。**目標**は、市民の皆さんや塾生と一緒に面白いプロジェクトを生み出すこと。私の**役割**はSNSを駆使し、市の魅力を発信していくことです。**休日**はバイクでグルメを巡るのが趣味なのでオススメのお店があれば教えてください。



①高村さんと息子さん ②伝達式の集合写真
③仕事の様子。向かい合っているのは高村さんと中学の同級生である、高島昂大さん(辻出身)
④インタビューの様子



たか むら ゆう
高村 優さん (小合志出身)

令和6年11月1日、熊本高等専門学校から感謝状が贈られ、紺綬褒章の受章を伝達された高村さん。令和5年6月に後進育成の援助のため、母校・熊本高専に寄付を行なった功績が称えられました。

高村さんは寄付のきっかけについて、「高専・大学院と、入学金、授業料の免除や奨学金の返済免除など、金銭的な援助をしてもらいました。そのおかげで、望んだ職業に就け、家族と楽しく過ごしているから何か還元できないか、と考えたことが始まりでした」と話します。

早くに両親を亡くし、祖父母の下で育てられた高村さん。熊本高専専攻科で学んだり、経験したりする中で、もっと見識を深めたい、研究を進めていきたいという意欲が湧いたことから、卒業後、九州大学大学院に進学。平成28年に最優秀成績で修了したとして『総合理工学府賞』を受賞しました。

その後、三菱電機(株)に入社し、兵庫県の先端技術総合研究所で勤務。「地道にコツコツと積み上げることが好きだったこと、自分の研究が製品として反映される姿が見たかった」と、企業の研究職を目指した理由について話します。

で話します。研究所では、主にモーターの磁気構造に関する研究開発を行ない、求められている性能に達するためにどうするかなど、周囲と協力しながら、新規アイデアの創出、特許出願や学会発表などに取り組みました。令和4年には成果が認められ、『電気学会優秀論文発表賞』を受賞。「自分の頑張りが認められたという実感があることが喜びです」と笑みを浮かべました。

令和6年4月からは、社内異動で愛知県の名古屋製作所に勤務し、モーターの開発・設計の業務に従事。より製品やユーザーに近い部署で、これまでの研究所での経験を生かして活躍しています。高村さんは、「自身の進む道を選択するときに大事なのは、楽しかった事を記録しておくこと。そうすることで自分の望む職業が見えてくる」と、後輩たちにエールを送ります。

今回の寄付金について熊本高専では、新しく奨学金制度を設けて必要な人の援助に使います。高村さんは、「奨学金制度を活用した人が、将来、次の人へと恩をつなぐ契機になったら嬉しいです」と優しく話しました。